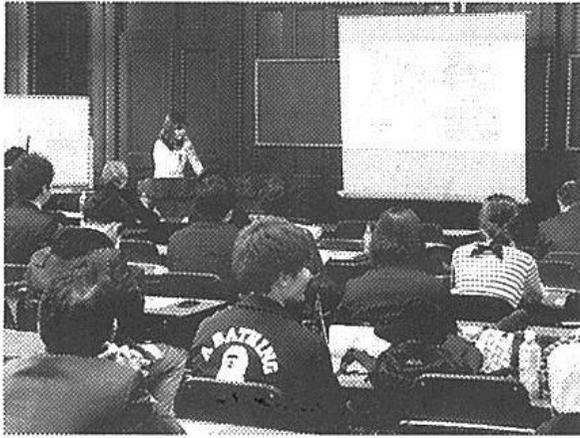


日刊建設通信新聞（2017年3月8日付2面掲載）

【横浜まちづくり学生会議らがフォーラム 研究成果もとに議論】



研究成果もとに議論

横浜まちづくり学生
会議らがフォーラム

横浜まちづくり学生会議と有限責任事業組合（LLP）まちテラスは5日、横浜市中区の横浜市開港記念会館で、横浜まちづくり学生会議の第3回フォーラムを開いた。写真。オリエンタルコンサルタンツが第1回、第2回に引き続き、協賛企業として参加した。

会議は学生自身が現場で考え、行動するまちづくりの人材育成を目指し、まちづくり提案や研究、地域活動報告な

ど、まちづくりに関心のある学生が日々の活動や研究成果を持ち寄り、議論を展開した。横浜国立大、東京都大など6つの大学の学生たちが参加した。

始めにまちテラスの高橋徹理事長が「フォーラムは、まちづくりに関心のある学生が大学の中での研究活動を持ち寄り、社会に向けて発表すると同時に、異なる学生がまちづくりのあるべき姿を議論することが特徴だ」とあいさつした。

当日は、「横浜市十日市場町における地域資源の抽出・発信の取り組み」「東京50^キ圏の戸建て住宅団地の空き家・空き地の実態」など9つの研究発表のほか、グループワーク、パネル討論などがあり、学生会議の継続的、発展的な活動に向けた提案が行われた。